



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 青山商事株式会社 上場取引所 東
コード番号 8219 URL <https://www.aoyama-syouji.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 理
取締役兼専務執行役員
問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部長兼 (氏名) 山根 康一 (TEL) 084-920-0050
総合企画部長
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年11月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	84,044	1.2	646	△53.8	518	△71.1	△630	—
2024年3月期中間期	83,013	6.7	1,399	—	1,797	—	463	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △936百万円(—%) 2024年3月期中間期 2,060百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 △12.65	円 銭 —
2024年3月期中間期	9.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 321,458	百万円 176,662	% 53.8
2024年3月期	335,597	180,877	52.8

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 172,869百万円 2024年3月期 177,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 65.00	円 銭 65.00
2025年3月期	—	30.00			
2025年3月期(予想)			—	97.00	127.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,600	2.5	13,800	15.8	13,850	10.8	9,100	△9.8	182.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	50,394,016株	2024年3月期	50,394,016株
2025年3月期中間期	513,612株	2024年3月期	531,253株
2025年3月期中間期	49,866,132株	2024年3月期中間期	49,849,673株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

(注)期末自己株式数には、「株式給付信託 (J-ESOP・BBT-RS)」に係る信託財産として、信託口が所有する当社株式 (2025年3月期中間期 399,136株、2024年3月期 328,400株)が含まれております。また、信託口が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2025年3月期中間期 354,472株、2024年3月期中間期 331,550株)。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2024年11月19日 (火) に機関投資家及びアナリスト向け説明会 (Web) を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

2025年3月期の個別業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	131,600	1.3	9,700	24.7	10,600	17.6	7,800	1.9	156.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	12
3. (参考) 中間財務諸表(個別)	13
(1) (参考) 中間貸借対照表(個別)	13
(2) (参考) 中間損益計算書(個別)	15
4. 補足情報	16
(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高	16
(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当中間期	前中間期	増減額	前年同期比(%)	当中間期	前中間期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	53,335	53,528	△192	99.6	△1,250	△606	△643	—
カード事業	2,605	2,498	106	104.3	1,154	1,134	19	101.7
印刷・メディア事業	5,035	5,069	△33	99.3	△160	△99	△60	—
雑貨販売事業	7,694	7,721	△26	99.7	193	171	22	113.0
総合リペアサービス事業	7,147	6,399	747	111.7	31	63	△32	48.9
フランチャイジー事業	7,688	7,179	508	107.1	539	465	73	115.8
不動産事業	1,527	1,548	△20	98.7	284	276	8	103.1
その他	584	852	△267	68.6	△152	△24	△128	—
調整額	△1,574	△1,783	209	—	6	17	△11	35.2
合計	84,044	83,013	1,030	101.2	646	1,399	△752	46.2

(注) セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△)(営業利益又は損失(△))はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。一方で、物価高の長期化に伴う消費マインドの低迷など、依然として不透明な状況は続いております。

このような状況下、当社グループにおきましても、主にカード事業やフランチャイジー事業が安定的に推移した一方、中核事業であるビジネスウェア事業が低調に推移いたしました。

今年度が初年度となる「2025年3月期～2027年3月期中期経営計画」で掲げた5つの「基本戦略」を着実に遂行することで、持続的な成長を目指してまいります。

当中間期の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 840億44百万円(前年同期比101.2%)

営業利益 6億46百万円(前年同期比46.2%)

経常利益 5億18百万円(前年同期比28.9%)

親会社株主に帰属する中間純損失 6億30百万円

(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益4億63百万円)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下のセグメント別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

〔青山商事(株) ビジネスウェア事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)、青山洋服商業(上海)有限公司、メルボメンズウェア(株)〕

当事業の売上高は533億35百万円(前年同期比99.6%)、セグメント損失(営業損失)は12億50百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)6億6百万円)となりました。

当事業の中核部門であります、青山商事(株)ビジネスウェア事業において、主要アイテムであるメンズスーツ(セットアップスーツ含まず。)の販売着数は前年同期比88.7%の363千着、平均販売単価は前年同期比106.7%の33,790円となりました。このような環境下、オーダースーツブランド「Quality Order SHITATE」が堅調に推移いたしました。また、カジュアルスタイルにも使い回し易い、機能性セットアップスーツ「ゼロプレッシャースーツ」が浸透し、新たにレディススタイルを展開するなど、各種施策を行ってまいりました。このような取組みの結果、当中間期(4月～9月)のビジネスウェア事業既存店売上高は前年同期比99.4%となりました。

＜青山商事(株)ビジネスウェア事業の既存店売上・客数・客単価の前期比推移＞ (単位：%)

	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
売上	122.6	109.3	99.4
客数	114.0	104.8	99.5
客単価	107.5	104.3	99.9

＜青山商事(株)メンズスーツの販売着数並びに平均販売単価推移＞

	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
販売着数(千着)	424	409	363
平均販売単価(円)	27,589	31,668	33,790

当中間期まで(4月～9月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数(2024年9月末現在)＞ (単位：店)

業態名	青山商事(株)				青山洋服商業(上海)有限公司	メルボメンズウェア(株)
	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージメジャーズ	合計	洋服の青山	麻布テーラー
出店〔内 移転〕 (4月～9月)	2〔1〕	5〔1〕	0	7〔2〕	1	0
閉店(4月～9月)	5	1	1	7	3	0
期末店舗数(9月末)	681	46	13	740	6	27

- (注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「スーツスクエア」、「ホワイト ザ・スーツカンパニー」を含んでおります(アウトレット店舗含む)。また、「ユニバーサルランゲージメジャーズ」には「ユニバーサルランゲージ」を含んでおります(アウトレット店舗含む)。
 2. 青山洋服商業(上海)有限公司の出店・閉店は2024年1月～6月、期末店舗数は2024年6月末の店舗数であります。
 3. メルボメンズウェア(株)の出店・閉店は2024年3月～8月、期末店舗数は2024年8月末の店舗数であります。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、ショッピング取扱高が増加したことなどから、売上高は26億5百万円(前年同期比104.3%)、セグメント利益(営業利益)は11億54百万円(前年同期比101.7%)となりました。

また、資金につきましては、親会社であります青山商事(株)等からの借入れと社債の発行により調達しております。

＜カード事業におけるAOYAMAカード有効会員数並びに営業貸付金残高の推移＞

	2023年8月期	2024年2月期	2024年8月期
有効会員数(万人)	395	391	387
営業貸付金残高(百万円)	52,100	53,219	52,045

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコ〕

当事業につきましては、印刷・DM売上やデバイス関連の売上が減少したことなどから、売上高は50億35百万円(前年同期比99.3%)、セグメント損失(営業損失)は1億60百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)99百万円)となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、不採算店舗の閉店により売上が減少した一方、人件費削減など、構造改革が進んだことから、売上高は76億94百万円(前年同期比99.7%)、セグメント利益(営業利益)は1億93百万円(前年同期比113.0%)となりました。

なお、2024年8月末の店舗数は101店舗(2023年8月末 109店舗)であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

当事業につきましては、新商品・サービスが好調に推移し売上が増加した一方、原価の高騰などにより、売上高は71億47百万円(前年同期比111.7%)、セグメント利益(営業利益)は31百万円(前年同期比48.9%)となりました。

当中間期まで(4月～9月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数(2024年9月末現在)＞

(単位:店)

地域	ミスターミニット			合計
	日本	オセアニア	その他	
出店(4月～9月)	10	4	2	16
閉店(4月～9月)	9	6	2	17
期末店舗数(9月末)	253	336	33	622

(注)「オセアニア」はオーストラリア、ニュージーランド、「その他」はシンガポール、マレーシアであります。

《フランチャイジー事業》〔(株)g1ob〕

当事業につきましては、「焼肉きんぐ」「ゆず庵」を展開しているフードサービス事業を始め、各業態が好調に推移したことから、売上高は76億88百万円(前年同期比107.1%)、セグメント利益(営業利益)は5億39百万円(前年同期比115.8%)と、過去最高水準の収益となりました。

当中間期まで(4月～9月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜フランチャイジー事業における業態別の出退店及び期末店舗数(2024年9月末現在)＞

(単位:店)

業態名	フードサービス事業		リユース事業	フィットネス事業
	焼肉きんぐ	ゆず庵	セカンドストリート	エニタイムフィットネス
出店(4月～9月)	0	0	0	1
閉店(4月～9月)	0	0	0	0
期末店舗数(9月末)	40	13	18	10

《不動産事業》〔青山商事(株)不動産事業〕

当事業につきましては、売上高は15億27百万円(前年同期比98.7%)、セグメント利益(営業利益)は2億84百万円(前年同期比103.1%)となりました。

《その他》〔(株)WTW、(株)カスタムライフ〕

その他の事業につきましては、売上高は5億84百万円(前年同期比68.6%)、セグメント損失(営業損失)は1億52百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)24百万円)となりました。

なお、2024年9月末の「ダブルティール」の店舗数は7店舗であります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産について、流動資産は1,931億40百万円となり、前連結会計年度末と比べ139億50百万円減少いたしました。この主な要因は、商品及び製品が10億46百万円、流動資産のその他が16億61百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が81億94百万円、受取手形及び売掛金が74億85百万円、営業貸付金が11億73百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、1,283億円となり前連結会計年度末と比べ1億74百万円減少いたしました。この主な要因は、有形固定資産が2億60百万円、無形固定資産のその他が2億41百万円それぞれ増加しましたが、のれんが2億75百万円、投資その他の資産のその他が3億13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,214億58百万円となり、前連結会計年度末と比べ141億39百万円減少いたしました。

負債について、流動負債は851億30百万円となり、前連結会計年度末と比べ160億72百万円減少いたしました。この主な要因は、短期借入金が83億46百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が30億64百万円、電子記録債務が71億11百万円、1年内償還予定の社債が100億5百万円、流動負債のその他が32億6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は596億64百万円となり、前連結会計年度末と比べ61億47百万円増加いたしました。この主な要因は、長期借入金が59億46百万円、退職給付に係る負債が1億84百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,447億95百万円となり、前連結会計年度末と比べ99億24百万円減少いたしました。

純資産合計は1,766億62百万円となり、前連結会計年度末と比べ42億14百万円減少いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が2億73百万円増加しましたが、利益剰余金が38億93百万円、その他有価証券評価差額金が4億98百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に公表いたしました通期の業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年11月12日)公表いたしました「2025年3月期第2四半期(中間期)の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」、「剰余金の配当(中間配当)、配当方針の変更及び期末配当予想の修正(増配)並びに自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,552	74,357
受取手形及び売掛金	18,199	10,713
有価証券	1,800	1,800
商品及び製品	45,912	46,958
仕掛品	413	463
原材料及び貯蔵品	2,626	2,795
営業貸付金	53,219	52,045
その他	2,540	4,201
貸倒引当金	△173	△196
流動資産合計	207,090	193,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,563	32,787
土地	40,845	40,852
その他(純額)	10,404	10,434
有形固定資産合計	83,813	84,074
無形固定資産		
のれん	3,574	3,299
その他	4,958	5,199
無形固定資産合計	8,532	8,498
投資その他の資産		
敷金及び保証金	16,401	16,356
その他	19,989	19,675
貸倒引当金	△262	△304
投資その他の資産合計	36,128	35,727
固定資産合計	128,475	128,300
繰延資産合計	31	17
資産合計	335,597	321,458
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,758	9,694
電子記録債務	15,028	7,917
1年内償還予定の社債	15,005	5,000
短期借入金	36,284	44,631
未払法人税等	2,094	1,363
契約負債	1,721	1,775
賞与引当金	1,913	1,558
その他	16,397	13,191
流動負債合計	101,203	85,130
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	30,070	36,017
退職給付に係る負債	8,706	8,891
その他	8,739	8,756
固定負債合計	53,517	59,664
負債合計	154,720	144,795

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,358	62,134
利益剰余金	65,399	61,506
自己株式	△1,440	△1,189
株主資本合計	188,822	184,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,337	1,839
繰延ヘッジ損益	2	△97
土地再評価差額金	△14,804	△14,804
為替換算調整勘定	1,141	1,415
退職給付に係る調整累計額	△373	△438
その他の包括利益累計額合計	△11,696	△12,086
非支配株主持分	3,750	3,793
純資産合計	180,877	176,662
負債純資産合計	335,597	321,458

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	83,013	84,044
売上原価	40,845	41,901
売上総利益	42,168	42,142
販売費及び一般管理費	40,769	41,496
営業利益	1,399	646
営業外収益		
受取利息	63	75
受取配当金	95	103
不動産賃貸料	16	13
為替差益	331	—
助成金収入	2	—
その他	178	173
営業外収益合計	688	366
営業外費用		
支払利息	165	251
デリバティブ評価損	78	64
為替差損	—	105
その他	46	71
営業外費用合計	290	494
経常利益	1,797	518
特別利益		
固定資産売却益	4	32
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	4	37
特別損失		
固定資産除売却損	59	20
減損損失	177	232
投資有価証券評価損	—	71
特別損失合計	237	324
税金等調整前中間純利益	1,564	231
法人税等	1,035	791
中間純利益又は中間純損失(△)	528	△559
非支配株主に帰属する中間純利益	64	71
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	463	△630

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	528	△559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	972	△498
繰延ヘッジ損益	11	△100
為替換算調整勘定	602	286
退職給付に係る調整額	△54	△64
その他の包括利益合計	1,531	△376
中間包括利益	2,060	△936
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,987	△1,021
非支配株主に係る中間包括利益	73	85

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ビジネス ウェア 事業	カード 事業	印刷・ メディア 事業	雑貨販売 事業	総合 リペア サービス 事業	フラン チャイ ジー 事業	不動産 事業	計				
売上高												
顧客との契約から 生じる収益	53,502	1,243	4,045	7,720	6,363	7,179	—	80,055	832	80,888	—	80,888
その他の収益	—	1,136	—	—	—	—	989	2,125	—	2,125	—	2,125
(1)外部顧客に 対する売上高	53,502	2,379	4,045	7,720	6,363	7,179	989	82,181	832	83,013	—	83,013
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	25	119	1,023	0	36	—	559	1,764	19	1,783	△1,783	—
計	53,528	2,498	5,069	7,721	6,399	7,179	1,548	83,945	852	84,797	△1,783	83,013
セグメント利益又は 損失(△)	△606	1,134	△99	171	63	465	276	1,405	△24	1,381	17	1,399

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webメディア事業等を含んでおり
ます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額17百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ビジネスウェア事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は「ビジネスウェア事業」セグメントで177百万円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ビジネス ウェア 事業	カード 事業	印刷・ メディア 事業	雑貨販売 事業	総合 リペア サービス 事業	フラン チャイ ジー 事業	不動産 事業	計				
売上高												
顧客との契約から 生じる収益	53,242	1,329	4,159	7,694	7,112	7,688	—	81,226	574	81,800	—	81,800
その他の収益	—	1,275	—	—	—	—	968	2,243	—	2,243	—	2,243
(1)外部顧客に 対する売上高	53,242	2,604	4,159	7,694	7,112	7,688	968	83,470	574	84,044	—	84,044
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	93	0	875	0	35	—	559	1,564	9	1,574	△1,574	—
計	53,335	2,605	5,035	7,694	7,147	7,688	1,527	85,034	584	85,619	△1,574	84,044
セグメント利益又は 損失(△)	△1,250	1,154	△160	193	31	539	284	792	△152	640	6	646

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webメディア事業等を含んでおり
ます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ビジネスウェア事業」セグメント、「雑貨販売事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は「ビジネスウェア事業」セグメントで229百万円、「雑貨販売事業」セグメント
で3百万円であります。

(重要な後発事象)

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、2024年11月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同
法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

2025年3月期から2027年3月期の中期経営計画にて定めております株主還元方針に則り、株主還元の拡充並
びに資本効率の向上等を図るために、実施するものであります。

2. 取得内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 150万株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を含む)に対する割合 2.98%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 30億円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2024年11月15日～2025年3月24日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

3. (参考)中間財務諸表(個別)

(1) (参考) 中間貸借対照表(個別)

(単位:百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,415	51,449
商品及び製品	42,034	42,647
原材料及び貯蔵品	563	578
関係会社短期貸付金	9,245	9,245
その他	14,535	8,991
貸倒引当金	△5	△2
流動資産合計	120,788	112,909
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	25,248	25,402
土地	38,611	38,611
その他(純額)	6,821	6,369
有形固定資産合計	70,681	70,383
無形固定資産		
投資その他の資産	2,667	3,002
投資その他の資産		
投資有価証券	6,768	6,051
敷金及び保証金	14,505	14,427
その他	27,011	27,281
貸倒引当金	△334	△334
投資その他の資産合計	47,952	47,425
固定資産合計	121,301	120,812
繰延資産		
社債発行費	19	12
資産合計	242,109	233,734
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,586	5,752
電子記録債務	14,797	7,695
短期借入金	15,600	15,625
未払法人税等	1,176	579
契約負債	1,721	2,878
賞与引当金	1,208	921
その他	15,078	6,235
流動負債合計	58,169	39,689
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	13,900	28,550
退職給付引当金	7,368	7,462
その他	4,000	3,727
固定負債合計	30,269	44,739
負債合計	88,438	84,429

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,420	62,196
利益剰余金	42,561	38,662
自己株式	△1,440	△1,189
株主資本合計	166,046	162,174
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,358	1,864
土地再評価差額金	△14,733	△14,733
評価・換算差額等合計	△12,375	△12,869
純資産合計	153,670	149,304
負債純資産合計	242,109	233,734

(2) (参考) 中間損益計算書(個別)

	(単位:百万円)	
	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	51,781	51,325
売上原価	23,083	23,039
売上総利益	28,697	28,286
販売費及び一般管理費	29,219	29,613
営業損失(△)	△521	△1,326
営業外収益		
受取利息	43	49
受取配当金	985	1,064
為替差益	168	—
その他	107	37
営業外収益合計	1,305	1,151
営業外費用		
支払利息	80	122
デリバティブ評価損	78	64
為替差損	—	1
その他	28	18
営業外費用合計	187	206
経常利益又は経常損失(△)	596	△382
特別利益		
固定資産売却益	0	21
特別利益合計	0	21
特別損失		
固定資産除売却損	41	11
減損損失	177	229
子会社株式評価損	—	71
特別損失合計	218	312
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	378	△673
法人税等	201	△36
中間純利益又は中間純損失(△)	177	△636

4. 補足情報

(1) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の商品別売上高

(単位:百万円)

		前中間会計期間		当中間会計期間		前年同期比	
		自 2023年4月1日 至 2023年9月30日		自 2024年4月1日 至 2024年9月30日			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
重衣料	スーツ・スリーピース	12,848	25.6	12,210	24.5	△637	95.0
	ジャケット	1,871	3.7	2,024	4.1	152	108.2
	スラックス	2,953	5.9	3,059	6.1	105	103.6
	コート	65	0.1	72	0.2	7	111.1
	フォーマル	8,235	16.4	8,115	16.3	△120	98.5
	ベスト	347	0.7	319	0.6	△28	91.7
	小計	26,321	52.4	25,800	51.8	△521	98.0
軽衣料	シャツ・洋品類	9,480	18.9	9,343	18.7	△137	98.6
	カジュアル類	1,254	2.5	1,382	2.8	127	110.2
	その他商品	4,025	8.0	3,986	8.0	△39	99.0
	小計	14,760	29.4	14,711	29.5	△48	99.7
レディス類	7,760	15.4	7,897	15.9	136	101.8	
補正加工賃	1,390	2.8	1,388	2.8	△1	99.9	
合計	50,232	100.0	49,798	100.0	△434	99.1	

(注) 1. その他商品は、靴・肌着・雑貨等でありませす。

2. レディス類には、レディススーツやレディスフォーマル、レディス洋品類、パンプス等が含まれておりませす。

(2) 青山商事(株)ビジネスウェア事業の店舗数(2024年9月末現在)

(単位:店)

地域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	2024年9月末 合計	2024年3月末 合計	増減
北海道	32	1		33	33	
北海道地方計	32	1	0	33	33	0
青森県	9			9	9	
岩手県	8			8	8	
宮城県	12	1		13	12	1
秋田県	9			9	9	
山形県	9			9	9	
福島県	10			10	10	
東北地方計	57	1	0	58	57	1
茨城県	16			16	16	
栃木県	10			10	10	
群馬県	13	1		14	14	
埼玉県	38	3	1	42	43	△1
千葉県	33	4	1	38	38	
東京都	61	12	5	78	77	1
神奈川県	32	3	2	37	38	△1
関東地方計	203	23	9	235	236	△1
新潟県	15	1		16	16	
富山県	6			6	6	
石川県	6	2		8	7	1
福井県	5			5	5	
山梨県	4			4	4	
長野県	12			12	12	
岐阜県	12			12	12	
静岡県	26			26	26	
愛知県	38	1	1	40	41	△1
中部地方計	124	4	1	129	129	0

(単位:店)

地域	洋服の青山	ザ・スーツ カンパニー	ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	2024年9月末 合計	2024年3月末 合計	増減
三重県	11			11	11	
滋賀県	10	1		11	11	
京都府	15	1		16	16	
大阪府	37	4	2	43	43	
兵庫県	27	2		29	30	△1
奈良県	8			8	8	
和歌山県	6			6	6	
近畿地方計	114	8	2	124	125	△1
鳥取県	3			3	3	
島根県	4			4	4	
岡山県	9	1		10	10	
広島県	17	3	1	21	21	
山口県	10			10	10	
中国地方計	43	4	1	48	48	0
徳島県	4			4	4	
香川県	5			5	5	
愛媛県	9	1		10	10	
高知県	5			5	5	
四国地方計	23	1	0	24	24	0
福岡県	27	2		29	30	△1
佐賀県	7			7	7	
長崎県	7	1		8	8	
熊本県	10	1		11	11	
大分県	9			9	9	
宮崎県	9			9	9	
鹿児島県	10			10	10	
沖縄県	6			6	6	
九州地方計	85	4	0	89	90	△1
合計	681	46	13	740	742	△2

(注) 1. 店舗の出退店等の状況(当中間期まで(4月~9月))

	出店	内 移転		閉店
洋服の青山	2	1		5
ザ・スーツカンパニー	5	1		1
ユニバーサル ランゲージ メジャーズ	0	0		1
計	7	2		7

2. 「ザ・スーツカンパニー」には「スーツスクエア」、「ホワイト ザ・スーツカンパニー」を含んでおりま
す(アウトレット店舗含む)。また、「ユニバーサル ランゲージ メジャーズ」には「ユニバーサル ラン
ゲージ」を含んでおります(アウトレット店舗含む)。